

# いもうと

広島県立庄原特別支援学校  
高等部第3学年 清水 皓太

いもうと

しみずこうた

まい

だいす<sup>き</sup>

にーちゃん<sup>て</sup>て<sup>ぶ</sup>ぶ<sup>が</sup>ところ

おおきい<sup>こ</sup>えで<sup>た</sup>の<sup>し</sup>ま<sup>う</sup>に<sup>こ</sup>  
うた<sup>う</sup>と<sup>こ</sup>ろ

キ<sup>ら</sup>い<sup>な</sup>と<sup>こ</sup>ろ

い<sup>や</sup>な<sup>と</sup>こ<sup>ろ</sup>は<sup>な</sup>い

まい<sup>が</sup>い<sup>な</sup>いと<sup>た</sup>だ<sup>の</sup>

しみ<sup>ず</sup>こ<sup>う</sup>た<sup>に</sup>なる

まい<sup>が</sup>いる<sup>か</sup>ら<sup>に</sup>ー<sup>ち</sup>ゃ<sup>ん</sup>に<sup>な</sup>れる

ず<sup>い</sup>と<sup>な</sup>キ<sup>ミ</sup>

## ＜指導者の言葉＞

国語科「豊かな表現力を身に付けよう」の単元において、生徒が好きなもの、興味・関心の高いことについて詩を作りました。本作品は、生徒が日頃話題にしていることの中から「好きな芸能人」「家族のこと」「楽しいイベント」の3つの項目を指導者が提示し、友だちや指導者と言葉を交わしながら、大好きな妹についての詩を作ることに決定しました。

一人で詩を考えることは難しいため、次の点に留意して指導しました。

- ①対話をしながら書きたい文章をホワイトボード等へ書き出す。
- ②本人と一緒に意味を再確認する。
- ③単語の並べ替えや組み換えを行い、構成を修正する。

最後に本人と最終原稿を確認し、友だちの前で発表を行い、修正点を洗い出し、完成することができました。

詩の中で特に印象に深い言葉は、最後の「まいがいるからに一ちゃんになれる」の部分です。生徒と指導者との対話を通して、妹への存在や思いを再確認することができ、「妹がいないと寂しい」という思いが出てきました。兄弟げんかもありますが、お互いの存在を尊重しているこ